

# ケモノミニ戦記

- 1
- 2
- 3 トラック1：最初の思い出
- 4
- 5 :(正面20センチ)
- 6 ・(初対面、奴隷出身だが物怖じしない女の子)
- 7 //(ノックして扉を開ける)
- 8
- 9 失礼します。
- 10 初めましてご主人様。
- 11 この度、専属のメイドとして隷属れいぞくさせていただきました。ポチの11番です！
- 12 元々奴隷の身でしたが、選抜を受けて選ばれました！
- 13 必ずお役に立つはずですよ！
- 14
- 15 ・(きょとんとしている主人公に聞く)
- 16
- 17 っつ…あれ？

18 えっと…どうしたの？

19 そんなに緊張されても困っちゃうな…

20 もしかして…獣人は苦手…？

21 …違うんだ、よかった…

22 私も人間さんと初めて話した時はちょっと怖かったな…

23

24 …(正面10センチ)

25 ・(励ますように)

26

27 大丈夫！全然怖くないよ！

28 私は君の召使い…うくん、ちょっとお堅いかな。

29 そうだ！

30 えへへ私はお友達になりに来たんだよ！

31 そう！友達！

32 あ、でもみんなには内緒だよ…？

33 獣人が王子様の友達なんて言ったら怒られちゃうから。

34 ほら尻尾触ってもいいよ！怖くないからね！

35 どう？ふわふわしてるでしょ！

36 あれ、なんで顔赤くしてるの？

37 えへへ…でも、君みたいな優しそうな人がご主人様でよかった…

38 私もね、もし怖い人だったら嫌だなんてちょっとだけ思ってたから…

39 すっごく嬉しー！

40 これからよろしくね！えへへ…

41

42 ・(独白)

43 :(正面10センチ)

44 //(独白は成長後の落ち着いた声)

45

46 最初の思い出は無垢な物だった。

47 貴方は王じゃないし私は奴隷じゃない。

48 運命と世界の外で私達は友達だったんだよ。

49

50 トリック2：海の思い出

51

52 :(正面10センチ)

53

・(楽しげに)

54 // (前回より数ヶ月経過、海外へ旅行に行ってる)

55

56 えへへ〜すごいワクワクするね！

57

私海外旅行なんて初めてだよ〜！

58

59 // (主人公…旅行じゃないよ)

60

61 もう、分かってるって。これは旅行じゃなくて、

62

あくまで貴方の許嫁との顔合わせを含めた視察？ってのは。

63

でも〜この国って海があるんですよ！

64

絵本でしか見た事ないあの幻の…

65

66 ・(ちよっとむすっとして)

67

68 あ、今大袈裟おおげさって思ったでしょ。

69

帝国産まれの獣人は海なんて一度も見ずに死んじゃうんだからね！

70

付き添いで私も行けるなんて、本当に幸運なんだよ！

71

ふっふっふ〜それに、ご主人様の将来のお嫁さんにも会えるからね。

72 とつても良い子じゃないとご主人様を任せられないからな  
73 ちゃんど見定めなきゃ。

74 えへへ…それじゃ、私はメイドさんたちの所に戻らなきゃ！  
75 うん、また後で会おうね！

76  
77 // (海辺)

78 ・(夢中になって)

79 ∴(後ろを向いて正面10センチ)

80  
81 わ〜！

82 これが海…やっぱり湖みずうみなんかとは全然違う。

83 向こう側が見えないや…こんなに大きかったんだ…

84 これが砂の感触…

85 なんだかポカポカするね！

86  
87 ∴(正面10センチに振り向きながら)

88  
89 ほら！ご主人様も裸足になりなよ！とつても気持ちいいよ！

90

91 // (寂しそうに)

92

93 って、あれ…さっきまで近くにいなかったっけ？

94 あ、あんな所に。

95 もう…許嫁の子にばっか構っちゃって…

96 はあ…仕方ないのは分かってるけど、なんかヤダなく

97 まあいいや、ちょっと一人で散歩してよっと。

98

99 ・(独り言)

100

101 …あれ、私何か変かな？

102 なんだかすっごく見られてる気がする…

103 獣人立ち入り禁止の看板は無かったと思うんだけど…

104 目線がちよっと怖い…

105 そう言えば、この国ではまだ獣人さん見てないなく

106 何処にいるんだろ？

107 あ、あんな所に！

108 犬の獣人さんかな？

109 人間さんと二人でお散歩か〜いいな〜

110

111 ・(少しびっくりに)

112

113 く、首輪と鎖とは…中々奇抜なファッション…

114 そ、そういう関係なのかな？

115 せーへきって言うのは人それぞれってメイド長さんも言ってたもんね…

116 でも、そんな関係にはあまり見えないけど…

117

118 ・(悲しげに)

119

120 ああ…そっか…思い出した…

121 この国では獣人はみーんな奴隷なんだっけ…

122 そりゃ立ち入り禁止の看板も無いよね…

123 人じゃ無いんだもん。

124 何処にいてもダメなんだ…

125 ……やっぱりご主人様のところに戻る。

126 あ、でも今は邪魔しちゃダメだよね。

127 じゃあ…私って…何処に居ればいいの？

128

129 海って冷たいね…

130

131 ・(独白)

132 ::(正面10センチ)

133

134 海の思い出は私に現実を教えてくれた。

135 自分が何者で、貴方が何者か。

136 幼い私でも気づかないでいる事は出来なかった。

137

138 トリック3：花の思い出

139

140 ::(正面15センチ)

141 // (前回より数ヶ月ほど経過、仲良くなっている)

142 ・(警戒した感じで)

143 // (ノックして扉を開ける)

144  
145 失礼します…  
146 …他の人いない？  
147 そっか、よかった！  
148 ねえ、急にどうしたの！二人で会いたいだなんて。  
149  
150 …(正面10センチ)  
151 // (主人公が花を差し出す)  
152  
153 わく綺麗なお花だね！なんて言うの？  
154 ふくん、イベリスって言うんだ…  
155 このお花、私にくれるの？  
156 やった！ありがとう、大切にするね！  
157 えへへ意外にキザな所もあるんだね。このこの  
158 え…名前も？  
159 それって…私に新しい名前を付けてくれるってこと！？  
160 それすっごく嬉しい！ほんとには前の名前好きじゃなかったんだ！  
161 イベリスからこんな綺麗なお花と同じ名前だなんて、ちょっと恥ずかしいよ…

162

163 (主人公への愛情をこっそり溢してしまい慌てる)

164

165 えへへ…こんな贈り物まで貰っちゃたら、もっと大好きになっちゃうな…

166 あ…なな、何でもないよ！ちょ、ちょっとお花、お部屋に飾ってくるね！

167 失礼しました〜！

168

169 …(正面10センチ)

170 (独り言)

171

172 はあ…危なかった…この気持ちは…だめだもん…

173 もし私が奴隷のポチじゃなかったらな…

174 あ…そうだお花…イベリス…だったよね。

175 どんなお花なんだろう、枯らしちゃったら嫌だし調べなくちゃ。

176 確か、お花の本がここに…あ、これだ！

177

178 (本で調べながら)

179

180 えっと…イベリスのページは…ふむふむ…

181 よく分かんないや…後でメイド長さんに聞きに行こく

182 ふくん花言葉も載ってるんだ、あ…

183

184 ・(少し寂しげに)

185

186 心をひきつける、甘い誘惑、そして…初恋の思い出…か…

187 きっと彼も知ってるんだよね…嬉しいな…両想いだったんだ…

188 そして分かってるんだ…私達は絶対に許されないって…

189 だからこそ思い出…

190

191 ・(決心して主人公に想いを伝えに行く)

192

193 でも…どうせ…思い出にするんだったら…

194 よし…決めた！

195

196 // (主人公の元に戻る)

197

- 198 ねえ、入ってもいい？
- 199 ありがとう、失礼します…
- 200 ごめんね…急に出て行っちゃって…
- 201 イベリスの花…調べてみたんだ…
- 202 うん…初恋の思い出…
- 203 あ、文句を言いに来たんじゃないよ？
- 204 私も同じ気持ちだったの。
- 205 私もご主人様が…君が好きになっちゃったんだ…ずっと前から…
- 206 でも分かってる…
- 207 私達は絶対に結ばれない運命なんだって。
- 208 だからさ…私達が大人になった時、苦しむ為の思い出作りをしようよ。
- 209 二人の時だけは、王と奴隷じゃなくて恋人でいたい！
- 210 きっと大人になって、運命を受け入れなきゃいけなくなった時、
- 211 凄く辛くなる、そんな甘い呪いの思い出作り…
- 212 ねえ…私と一緒に苦しんでくれる…？
- 213 そっか…ありがとう…
- 214 沢山思い出…作ろうね…
- 215

216 ・(独白)

217 』:(正面10センチ)

218

219 本当に嬉しかった。この思い出は一番綺麗で、一番鋭い。

220 少しづつ自分の立場を理解して、大人になろうとしてたんだよ？私も。

221 でも、貴方が夢の続きを見させてくれた。愛してくれた。

222 だからこそ、大人になった私の心を引き裂いたんだよ。

223

224 トリック4☆:初めての思い出

225

226 』:(正面15センチ)

227 ・(主人公との密会、そわそわしている)

228 // (前回より数年経過、成長して以前より少し落ち着いている)

229

230 えへへ:悪いことしてるみたいでドキドキするね!

231 実際、バレたら絶対怒られちゃうけど...

232 でも、人目を盗んで夜に密会だなんて...

233 なんだかロマンチックでむしろ嬉しいかも!

234 みんなの前で堂々とデートとか出来ない分  
235 こういう特別な時間は大切にしなきゃ。  
236 せつかくこうして二人きりだったのに、  
237 もっとイチャイチャしたいのにな〜  
238 ふふふっ…ねえねえ君の専属メイド兼恋人なんだよ私？  
239  
240 …(次のセリフだけ左耳のセンチに耳打ち)  
241  
242 えっちな命令とかしないの？♡  
243 えへへ…顔真っ赤にしちゃって。冗談だよ〜  
244 私達、お互いの裸だってみた事あるんだから恥ずかしがらなくてもいいのに。  
245 昔はお風呂とか一緒に入ってたじゃん！  
246 …懐かしいね。あの時はまだ子供だったからな〜  
247  
248 …(ちゅっど湿っぽく)  
249  
250 そう…昔は…今はもう子供じゃないんだよ…？私も君も…  
251

252 …(正面5センチ)

253

ちよっと顔近いかな…

255

あ…離れちゃダメ…

256

…目、瞑つぶって？

257

258

・(キス)

259

260

んっ…

261

うう…は、恥ずかしいから何も言わないで…

262

私のファーストキス…君に捧げちゃった…

263

えへへ…心臓が鳴り止まないよ。

264

ほら、私の胸…触ってみて？

265

ね？すっごいバクバクなってるでしょ？

266

えへへ…そっか君もなんだ…

267

私も…触ってみていい？

268

…本当だ…お揃いだね♡

269

…そんなに見つめないですよ…

270 男の子なんだから…続きは君がリードして…

271 大丈夫…心の準備ならあの日から…

272 私の全てを貴方に捧げるつもりだったよ。

273 あ、ちょっと待って！

274 さ、最終確認しなきゃ…

275 戸締りは絶対に大丈夫…バレたら絶対にクビにされちゃうもん…色んな意味で。

276 避妊具も…使い方は勉強してきたから大丈夫なはず…

277 …何よ？私が用意もせずに君に会いに行く訳ないじゃん…

278 密会の日は毎回用意してたんだよ？この意気地無し…

279 一応私も発情期じゃないから…我慢できなくなっちゃっても多分大丈夫だよ…

280 うん…しよっか…

281

282 ・(恥ずかしがって)

283

284 うー、ねえ上は着たままじゃだめかな？

285 だって…恥ずかしいんだもん。

286 結局おっぱいは成長しなかったし…

287 身長だけは無駄に伸びて…こんな貧相な体じゃ君に嫌われちゃうよ…

288

289 // (主人公…君の全てが大好きだから)

290

291 えへへ〜ほんとに〜？

292 じゃあ…脱いであげないこともないけど…

293 がっかりしないですよ？

294 昔一緒にお風呂入ってた時からほぼ変わって無いからね？

295

296 // (服を脱ぐ)

297

298 ちゅっちゅ…っ。っ。

299 ほら、好きにっっっちゅ…

300 めりぎり揉めるくらいの大きさだけど…

301 っっっちゅ、ちゅっっっちゅ…

302

303 :(正面上5センチ)

304

305 わわ…赤ちゃんみたいにおっぱいにむっしゅぶりっっっちゅ…

306 美味しいの…？

307 何も出てないよ…

308 もう…心配して損した。

309 うふふ…<sup>ハキ</sup>擦りたい、ちゅちゅちゅって吸っちゃって…なんか可愛い。

310 えへへ…頭撫でてあげちゃう。よしよし。

311 …ねえ、いつまでそうしてるつもりなの？

312 おーい？あれ、聞こえてない…？

313 ねえ、私の相手もしてっば〜

314

315 …(正面10センチ)

316

317 あ、やっと帰ってきた。

318 ほら、次は君の番だよ？

319 早く脱いでー

320 えへへ〜やっぱり私が脱がしちゃう。

321 おちんちんさん、お久しぶりですね〜…って、ええ！？

322 おお…凄い…その…随分とご立派になりましたね…

323 昔見た時はなんか可愛い感じだったのに…

324 本当に入るのかな？

325 少しだけ触ってもいい？

326 …ふーん…なんか変な感じ…すっごい腫れてて苦しそう…

327 早くスッキリさせてあげないとだね！

328 そうだ、あれ着けないと…ゴムちゃんと着けられるかな…

329 えっと…こっちが表…？多分あってるはず…

330 じりやって…くるくるくる〜

331 えへへ、なんか面白いね。

332

333 // (深呼吸して)

334

335 ふう〜緊張しちゃうな…

336 うん…いつでも大丈夫。

337 君のペースでいいからね？

338 やっと君と繋がれるんだ…

339 先っぽが…ん…もうちょっと下かな…

340 そろ…そろで合ってるよ…

341 ああ、そんなに焦らなくても…

342 大丈夫だから…ね？落ち着いて…

343 うふふ…初めてなんだから上手く出来なくても仕方ないよ。

344 一緒に慣れてっ？

345 やっぱり初めては対面座位？って言うやつにしよっか。

346 見つめ合いながら君に抱いて貰えたら…

347 絶対いいに決まってるもん。

348

349 ・(嬉しそうに)

350

351 えへへ…ありがとう。

352 上…乗るね。

353 ん…大丈夫？重くないかな？

354

355 // (主人公…平気)

356

357 ふ〜ん…本当かなあ？

358 えへへ…それじゃあ…もう入れちゃおっか。

359 私ね…もう我慢できない♡

360 よいしょ…と…

361

362 …(右耳のセンチ)

363 ・(吐息を漏らしながら耳元でコンコン喋る)

364

365 ん…全部入っちゃったよ…貴方のおちんちん♡

366 えへへ…すご〜くドキドキする…

367 わっ…そんなぎゅってしちゃって…抱きしめてくれるの？

368 私の事心配してくれてるんだ♡

369 これ以上君に優しくされたら、

370 私おかしくなっちゃうよ♡

371 優しくしてくれてとっても嬉しい♡

372 でも大丈夫！全然痛くないよ！

373 君の事が大好きなのもあるけど、

374 私の体ってすご〜く丈夫なんだ！

375 じゃなかったら奴隷の子がわざわざ選ばれないよ〜

376 今の王様は狼の貴族の子が贈られたみたいだし…

377 ほら、今メイド長やってる人だよ！

378 …君も私より貴族の子が良かった？

379

380 // (主人公…君がいい)

381

382 えへ…えへへ…良かった、とっても嬉しい♡私も大好きだよ♡

383 私のご主人様が…恋人が君で本当に幸せ。

384 君がやりたい事、なんだって言うってね♡

385 どんな変態さんなお願いでも私は絶対に応えてあげる♡

386 …パイズリは無理だよ…いじわる…

387 も…許さないからね！

388 いきなり激しく動いちゃうよ…

389 それで君が我慢できずにピュっとお漏らしお射精したら、

390 早漏さん♡ってからかってあげるね♡えへへ…

391 はっいスタートです♡

392

393 // (抽送早い)

394

395 ん…ちょっと難しいな…でも…

396 んっ…はぁ…はぁ…これすっごく良い♡

397 君のおちんちんが…私の気持ちいい所に沢山擦れて…

398 うう…気持ちいい…気持ちいいよぉ…♡

399 絶対私専用のおちんちんだ…

400 やばい…イッちゃいそう…

401 頭がピリピリしてくる…

402 ん…はぁ…はぁ…

403 や、やっぱりゆっくりしよっか！

404

405 // (抽送ゆっくり)

406 • (誤魔化す)

407

408 初めてのエッチなのに、すぐに終わっちゃったら勿体無いもんね！

409 べ、別に私がイキそうだったとかじゃ無いよ！

410 それに…初めての思い出はやっぱりちゃんと覚えていたいもん…

411 キス…しよ…

412

413

• (深めのキス)

414

んん…ん…んん…ん…ふはっ…もっ…もっ…もっ…私を求めて…

416 ん…ん…抱きしめて…離さないで…ん…ふはっ…

417 うふふ…今だけ私は奴隷じゃなくてお姫様なんだ…

418 えへへ…イベリスお嬢様と呼んで下さい。

419 ふふっ…冗談だよ

420 それとも…君が今だけは奴隷なのかもね…あはは…

421 二人でどこか遠い所に行けたらな…

422 分かってるよ…

423 逃げ場所なんてないから、思い出が必要なんだもんね…

424

425 ・(気を改めて明るく)

426

427 ふふっ…暗いのはやめよっか！

428 楽しんで思っ出っごも…

429 もう手加減しないからね

430

431 // (抽送早く)

432

って…んんっ！はあ…はあ…

434

ちゅ♡やっぱり良すぎるよぉ…

435

君のおちんちん…気持ちっ…♡

436

はぁ…はぁ…んん…

437

君もはぁはぁっ…て吐息が漏れちゃってる♡

438

こんなにあっちゅって良いものだったんだ…

439

もっと早くすればよかったね♡

440

・(優しく母性感強く)

441

442

443 えくなにになに…？

444

どうしたの？

445

何だっしてあげるから何でも言ってよ♡

446

…またおっぱい吸いたいんだ…

447

しょうがないなぁ。

448

ほら、おいで好きなだけちゅうちゅっしてっ♡

449

450 … (左耳0センチ)

451

452 えへへ…もくほんと可愛いな〜♡

453 大きさが大きさだからな…頑張って抱きついて吸ってる…

454 なんかごめんね…

455 わっ…♡おちんちんが更に大きく…

456 いいよ…私でどんどん気持ち良くなってるね…

457

458 … (正面5センチ)

459 // (主人公がヒロインを押し倒す)

460

461 わわっ…ちよっと〜急に押し倒さないですよ〜♡

462 えへへ…意外に積極的なんだね♡

463 それで…私をどうしちゃうつもり?♡

464 いいよ…私をめちやくちやにして…

465 んっ…いい…すっごく良いよ…もっと私を求めて…

466 好き…こんな世界なんかより…ずーっと君の方が大好きだよ…

467 貴方もきつとそうだよね…



486 ねえ…貴方も早く♡  
487 あ…おちんちんが痙攣けいれんしちゃてるね♡  
488 えへへ…いっよ…出して…♡  
489  
490 // (射精)  
491 :(正面5センチ)  
492  
493 んん〜!はあ…はあ…  
494 えへへ…一緒に行けたね…♡  
495 はあ…はあ…君のおちんちん気持ち良すぎだよ  
496 ああ…そうだおちんちん抜かないと。  
497 ん…わぁ♡沢山出したね!  
498 ゴムが精液でタプタプだ〜  
499 …ねえ、それちょっと私に貸してくれない?  
500 何ででもいいじゃん、貸して〜  
501 えへへ、ありがと〜沢山君の精液が入ってるね♡  
502 それでは…頂きまーす♡  
503

504 // (ゴックン)

505

506 ん…ん…う…ん…結構個性的な味だね。

507 私は嫌いじゃないかも。

508 喉に絡みつく感じがなんだか不思議だけど。

509 えへへ…初めては結構上手く行かないみたい聞いてたから

510 ちょっと不安だったんだけど、全然そんな事なかったね！

511 何回も思い出してにやけちやいそうだよ

512 えへへ…こんなの絶対に忘れられないや…

513 あ…グツタリしちゃって…疲れちゃった？

514 このまま一緒に寝たいけど…バレたら大変だからな…

515 後片付けは私がしておくから、君はもう寝ちゃっていいよ。

516 ふふふ…いいの。気にしないで…

517 君が寝付くまでは一緒にいるから。

518 うん、おやすみなさい。

519 …大好きだよ。

520

521 :(正面10センチ)

522 ・(独白)

523

524 本当に幸せな思い出…

525 最高の初体験だった。

526 でもね…本当は貴方の腕の中で一緒に眠って…

527 私が先に起きて貴方の寝顔を独り占めしたかったんだ。

528 そして…目を覚ました君ときこちなく笑いたかった。

529

530 トリック5☆…朝の思い出

531

532 …(正面20センチ)

533 ・(主人公を起こしに来た)

534 // (ノックして部屋に入る)

535

536 あれ？まだ寝てるのかな？

537 おーい、入っちゃうよー？

538 いや、勝手に入っちゃお…失礼します。

539 あ、本当に寝てる…

540

541                   :: (右耳5センチ)

542

543                   えへへ…私のご主人様は寝顔も可愛いなく

544                   っつ…あれ？

545                   何で…裸で寝てるの？

546                   そしてこれは…私の下着…どうしてこんな所に…

547                   まー、いつか！

548                   おっきくなってる時のおちんちん可愛い♡

549                   私の前だといつもおっきいもんね、新鮮♡

550                   ふふふ…フニフニで柔らかーい…

551                   っつ…ありゃ？

552                   触ってたらおっきくなっちゃった。

553                   まだ起きてないよね？

554

555                   :: (右耳0センチ)

556                   // (息をフツと吹きかけて)

557

558 えへへ…

559 おーい起きてますか？

560 何でおちんちん出してるの？

561 うふふ…大好きだよ…

562

563 …(右耳5センチ)

564

565 ちゃんと寝てるみたい…

566 おちんちんって勝手におっきくなるんだ！

567 …この時間は誰も来ないよね…

568 よし…頂きまーす…

569

570 …(正面5センチ)

571 //(ゆっくりなフェラ)

572

573 あむ…ん…ん…ん…

574 ん…ん…ん…ん…じゅる…

575 んっ…んっ…じゅ…ん…ん…ん…

576 ん…じゅる…じゅる…んん…

577 んん…じゅる…む…ん…ぷはっ…

578 まだ…起きてないよね…？

579 もうちょっとだけ…

580 あむ…むむ…ん…じゅる…

581 ん…んん…じゅる…ん…

582 んん…んっ…んっ…

583 ん…ん…ん…あ…ぷはっ…

584 お汁が出て来ちゃった…我慢汁かな？変な味…

585 もしかして寝たままお射精しちゃうのかな…

586 なんか怖いな…

587 反応なくて寂しいっ…

588 ねえ、起きてよ…

589

590 ・(優しく微笑みかけるように)

591

592 あ…

593 えへへ…おはよ…

594 ねえ、何でパンツも履かずに寝てるの？

595 そんな無防備な状態で寝てたら、私に襲われちゃうに決まってるじゃん♡

596 私じゃなくて君が悪いんだよ。

597 それじゃ〜早速だけど君にはお射精して貰います♡

598 沢山濃いの出してね♡

599

600 ・(激しいフェエ)

601

602 あーむ…んん…じゅる…じゅる…じゅる…

603 ん…んん…んっ…んっ…んん…

604 ふふふ…辞めないよ〜？

605 ん…ん…じゅる…ん…ん…

606 んん…んっ…んん…

607 もう出ちゃうんだ♡いいよ…お口にぴゅっぴゅしちやいなよ♡

608 んっ…んっ…じゅる…じゅる…じゅる…ん…んん…！…

609

610 // (射精、ゴックン)

611

612 ん…ぷはあ…

613 えへへ…たつくさん出したね♡

614 ご馳走様です♡

615 お礼に綺麗にしてあげるね♡

616

617 ・(お掃除フェラ)

618

619 ん…れろれろ…んん…ぺろ…ん…

620 じゅる…ん…ん…ぷはっ

621 よし！綺麗になったね！

622 えへへ朝から私達こんな事しちゃうなんて…

623 もうすっごい思い出になったね♡

624 あ、ねえ…ちゅっと耳貸して。

625

626 ∴(左耳0センチ)

627 ・(ちよっと小悪魔的に<sup>からか</sup>揶揄っ様に)

628

629 次から溜まっちゃった時はちゃんと私を呼ぶんだよ？♡

630

631 …(正面5センチ)

632

633 うふふ…バレバレだよ

634 なんで本物の私がいるのにわざわざ下着なんかオカズにするのかわ

635 ないのでこれは没収です。

636 呼んでくれれば、手コキでもフェラでもえっちでも、なんでもしてあげるから♡

637

638 …(少し怒り気味)

639

640 …何？君、口を開けばパイズリパイズリって…

641 喧嘩売ってるんだ、絶対そうだよね？

642 別に私は良いんだよ？

643 でも、まな板の上に置かれたソーセイジの末路は決まってるからね。

644

645 …(少し呆れたように)

646

647 そんなにして欲しいんだ…性癖って人を狂わせるんだね…

648 もう…分かったから…いつかね、いつか…はあ…

649 全く…貴方を好きになったのが私で本当によかったね…

650

651 ・(独白)

652

653 馬鹿みたいな思い出だけど、私には特別な思い出なんだ。

654 君の寝顔を見れたし、劣情の吐口に私を使ってくれた事を知れたから。

655 この後にバイズリをしてあげたのも間違いなく思い出だけど…

656 それは貴方の胸にしまっけて置いて。うふふ…

657

658 トリック6：運命の思い出

659

660 ::(正面10センチ)

661 ・(ワクワクしながら部屋に入る)

662

663 こんばんは〜

664 ふんふ〜ん♪

665 うふふ…ちよっと久しぶりだね。

666 ずっと今日が楽しみだったんだ〜

667 えへへ：理由はね〜もうちょっとだけ秘密♡

668 もう最近はお互いに大変だね〜

669 貴方も忙しそうだったし。

670 私も君の王位継承が近いから色々勉強させられてるんだ〜。

671 こんな事勉強しても仕方ないんだけどね、だって…

672

673 // (ヒロインはその時には出て行く予定です)

674

675 君が王位を継ぐ時には…私はもう…

676 ううん、何でもないや。

677 あ、そう言えば知ってる？

678 ビリタスさんの所に赤ちゃんが産まれたんだって！

679 ウルーラちゃんだっけな、可愛い狼の女の子だったよ！

680 そう！あの怖い狼のメイド長さんの実家…は分家でその本家？みたい。

681 狼の人って綺麗だよ〜

682 メイド長さんは子供なんて作る気無い！

683 って言ってたから、帝国だと狼の獣人はあの子とメイド長さんで最後みたい。

684 ビリタスさんの所は獣人が産まれると国外にお嫁に出しちゃうからね

685 あの子も大きくなったらそうなっちゃうのかな…

686 何処のお家も大変だね…

687 そういう運命みたいなの…私は少し嫌い…

688

689 ::(独白)

690

691 この時にはもう決めてたんだ。

692

693 トリック☆…戯れの思い出

694

695 ::(正面10センチ)

696 ・(前回からしばらく雑談を続けた後)

697

698 私にそっくりな子に夢で会ったんだって！本当だよ？

699 も…信じてないでしょ…

700 君にもちよっと似てたかも？

701 えへへ、もうすっかり話し込んだじゃった。

702 それでは、そろそろ本題と行きましょうか♡

703 勿論、今日の思い出作りの事だよ♡

704 うふふふ、すごく楽しみにしてたんだく

705 今日は私がしたい事をする番だからね！

706 ちょっとお耳貸してく

707

708 ::(左耳0センチ)

709

710 今日はね…レイプごっこがしたいの♡

711

712 ::(正面10センチ)

713

714 えへへくずっと準備してたんだよ？

715 台本も用意して来たし、ほら…手錠も持って来たんだよ？

716

717 // (主人公…乱暴なプレイはちょっと…)

718

719 …演技でも私に乱暴な事はしたくないんだ？

720 えへへ…相変わらず君は優しいね〜

721 でもちよつと勘違いしてるみたい。

722 君は犯すんじゃないくて、私に犯されちゃうんだよ♡

723 私が発情した悪い獣人って言う設定なの！

724 君は捕まった童貞さん！

725 じゃあ、もう手錠つけちゃうね！ふっふっふ〜

726 こほん…私、役には入り込むタイプだから…♡

727 覚悟してね♡

728

729 ・(発情した獣、ダウンー気味)

730 ∴(正面5センチ)

731 うふふ…

732 はぁ…はぁ…やっと捕まえた…

733 もう逃げられない…よ♡

734

735 ∴(右耳0センチ べろりと舐める)

736

737 べろっ…はぁ…はぁ…やっと…お前を食べてやれるんだ…

738 ずっと狙ってたんだ、絶対滅茶苦茶に犯してやるって…

739

740 :(左耳のセンサー)

741

742 今更気づいても…遅い…

743 もうお前は私のモノ…

744 お前に服なんて必要ない…

745

746 :(正面のセンサー)

747 //(服を脱がす)

748 ん…?..

749 ふふ…ふふふ…

750 オイ…お前、勃起してるよね…

751 そうか…お前も本当は犯して欲しかったんだ…♡

752 ほら…言葉で

753 「僕のおちんちんをどうか滅茶苦茶に犯して下さい。」

754 っ…

755 □答えしたら…ユルサナイ…

756 3…2…1…  
757 ふふふ…  
758 そう…そんなに犯して欲しいなら…  
759 滅茶苦茶にしてやる…  
760  
761 // (挿入)  
762 ・(一瞬だけ素に戻る)  
763  
764 あっ…♡やばい、気持ちっ…んん…  
765 ちょ、ちょっとだけ待って…  
766 すう…はあ…よし…こほん…  
767 あーあ…お前の新品チンポ、獣人に犯され…汚されてるよ♡  
768 もう…人間の女じゃ…絶対に満足できない…  
769 ケモナーチンポに変えられていくんだ…  
770 ふふ…ふふふ…  
771 ああ最高♡  
772 んっ…お前のチンポ…  
773 中々…はあ…はあ…

774 　いゝ…じゅん…  
775 　このまま…チンポガンガン犯すからね…  
776 　最後はザーメン全部…  
777 　私のまんこにぶちまける…  
778 　ああ…人間様の尊厳踏み躪<sup>じ</sup>るの…最高♡  
779 　普段見下してる癖に…  
780 　こうやってチンポ犯されても…なにも抵抗できない…  
781 　ふふふ…無様だ♡  
782 　まあ、安心して…  
783 　お前のチンポに飽きるまでは飼ってやるから。  
784 　その後は…知らないけど。  
785 　ほら…私を飽きさせるな…  
786 　腰突き上げる…  
787 　そうだ…んっ…いいよ…  
788 　ふふふ…  
789 　言われるがまま馬鹿みたいに腰を突き上げて…  
790 　もう完全にペットみたいだね♡  
791 　首輪も用意すればよかった。

792 ほら、もっとご主人様を満足させる…  
793 いろいろ…ん？  
794 お前、チンポが膨らんできてるけど…  
795 おい…まさかご主人様の許可無しで射精できると思ってるのか？  
796 良い訳ない…  
797 だってこれは…確定で私を孕ませる…  
798 種付け交尾だよ？  
799 そんな孕ませゲームを勝手に出して良い訳ないだろ…  
800 まだダメ、満足してない…  
801 もっと激しく…強く締め付けてやる…  
802 チンポ我慢しろ…  
803 キツキツ獣人まんこに負けるな…  
804 オラっオラっ…我慢しろ！勝手に射精したら許さないよ…  
805  
806 // (ラストスパート)  
807  
808 はあはあ…もっと…激しく…  
809 え…う…ぞ…

810 おい…なにチンポビクつかせてるの…

811 まだダメに決まってる。

812 オラっオラっもっと満足させる…

813 イヒヒ…チンポのビクつきが止まらないね…

814 勝手に射精する気なんだ…

815 もう止まれなさそうだね…

816 いろいろ…孕ませる…

817 獣人まんこに敗北射精しろ…

818 ほら、チンポからザーメン全部吐き出せ！

819 出せっ出せっ出せー！

820 無様に射精しろー！

821

822 // (射精)

823

824 ゆっ…んん…出てるね…

825 ぷぷぷ…出っちゅれ…

826 これは絶対に孕んでるよ♡

827 もう諦めて番ひまになるっかならね♡

828

829

830

・(演技終わり)

831

832 はあ…はあ…ふう…気持ちよかった

833 もく君のおちんちん良すぎて演技するの大変だよ

834 …って、あれ？大丈夫？

835 いや！演技だよ？！

836 全然心配しなくて大丈夫だからね？

837 ちゃんと発情期じゃないし、人間さんの事悪く思った事なんかないもん！

838 私は君と一緒に居られるだけで幸せだよ！

839 あく君の事を犯したいな…って思ってたのは…まあ…うん。

840 …楽しい思い出になったね！

841

842

…(正面10センチ)

843

・(独白)

844

845

貴方との営みはどれも素敵だったし、嫌な事なんか一回もなかったよ。

846 ただ…私が一番興奮したのはこう言うえっちだったんだ。

847 貴方との関係はどんな物でも私は構わない。王と奴隷の関係以外なら…

848 何かを演じながらの貴方との営みは…まるで夢のようだった。

849

850 トリック8☆…別れの思い出

851

852 …(正面10センチ)

853 …(寂しげな雰囲気)

854 //((ノックして部屋に入る))

855

856 入るね…

857 その…おめでとう。

858 遂に貴方の王位継承が決まったね…

859 許嫁の子も…久しぶりに会ったけど見違えちゃった！

860 すっごく綺麗で…君にお似合いだよ…

861 はぁ…やっぱり…ダメだ…

862 あはは…分かってたけど…ちゃんと痛いなぁ…

863 君と作って来た思い出が私の心の一番脆い部分に突き刺さって…抜けないんだ…

864 君はさ、きつともう恋人では居られないけど、また主人とメイドの関係に戻って  
865 新しい付き合い方をして行くんだーとか思ってるんですよ。

866

867 ・(嫉妬や悲しみ、怒りの感情)

868

869 無理だよ。無理、絶対やだ。

870 うう…君に私以外の人ができるなんて嫌に決まってるじゃん！

871 君の結婚式にどんな顔して行けばいいの？

872 君の子供とどう接すればいいの？

873 私だってみんなの前で祝福されたかった！

874 祝福の中で頬ほおを赤らめる君を一番近くで眺めたかった！

875 堂々と君の隣を歩きたかった…

876 君以外愛せない私に居場所なんかこの世界には…

877 君が思ってるより私は強く無い！

878 行き場を無くした愛情が痛くて仕方が無いんだよ…

879 もう君と会いたくない…恋人じゃない君は…貴方は…

880 余りに遠くて…眩しいよ…。

881 明日…出て行くから…

882 うん…決めてたんだ。貴方との思い出が…余りに鋭いと気づいた時から…

883

884 ・(涙を堪えるような声)

885

886 貴方は私に…イベリスを贈ってくれたけど…

887 私は…どこまで行っても結局ポチなんだよ。

888 ポチの11番、奴隷の子、花にはなれない、それが私。

889 それが…運命…。

890

891 ・(開き直って)

892

893 ごめんね…こんな事言っちゃたら気まずいよね…

894 結局、私は貴方が大好きなんだ…

895 それに…もう少し…今だけはまだ恋人で居られるんだから…

896 君と私は愛し合うべきだよ。

897 そして、私達を祝福しないこんな運命や世界に

898 せめて最後は私達の思い出を残したい。

899

今ね、発情期なんだ。

900 うん、産むから…君と私の子。

901 …別に、親になろうなんて思っ  
てない。

902 私達から産まれて来る子に私  
たちが与えられる物は何も  
無いから…

903 名前だって付けないよ、産  
んだら直ぐに孤児院に送る  
つもり。

904 私と君の様にはなつて欲しく  
ない…王の子でも奴隷の子  
でも無い、

905 何者でもないなら、きつと何  
にでもなれるはずでしょ！

906 それこそ君が私にしてくれた  
様に、名前を贈つて貰つた  
時そうなれるんだよ！

907 ふふ…分かつてる自分勝手  
で押し付けがましい考えだ  
よね。

908 子供を何だと思つてるん  
だろう。

909 でもさ、別にみんなにとつ  
て…世界にとつて正しくあ  
る必要なんて無いんだよ。

910 ただ目の前に見据えた、愛  
する人が正しいと言つてく  
れるなら…私はなんでも良  
い…

911 君は私を否定するの？目を  
見て言つて欲しいな。

912

913 …ふふ、ありがとう。一緒  
に世界を呪おつか。

914 私ね、海が嫌いなんだ。

915 うん、昔に旅行へ行った時  
初めて見た海。

916 すっごく綺麗だった、どこ  
までも続く水平線、

917 空みたいな青さ、本当に胸  
がドキドキしたよ！

918 そして、その全てが誰かの物で私達の物は一つもないって知った時、  
919 凄く悲しくなった。

920 奪ってきてよ、世界から海を。

921 その時に私はきつともう居ないけど、絶対胸がスカツと思うんだ！

922 あはは…王様になったら戦争して取ってきてくれるんだ、いいね…最高だよそれ。

923 えへへ…私達、最低だね。

924 でも、目の前の愛しい君は絶対に正しい、それで良いんだよ。

925 ほら、私を抱いて…無限の愛情を全て出し切って、最後の思い出にしよう…！！

926

927 トリック☆：最後の思い出

928

929 …(正面10センチ)

930 …(愛情だけ)

931

932 ずっと好きでした。

933 初めて会う獣人に怯える貴方が。

934 奴隷の子に名前とお花、そして愛をくれた貴方が。

935 初めて体を重ねて愛し合えた貴方が。

936 朝日よりずっと眩しい笑顔の貴方が。

937 どんな私も愛して触れ合ってくれた貴方が。

938 一緒に世界と運命を呪ってくれる貴方が。

939 本当に大好き。今だって愛してる。

940 ふふ…ちよっと重いかな？

941 でも君との思い出が鋭く心に触れて来るんだよ。

942 えへへ…私は君に何を残せたのかな。

943 温度差があつたら悲しいなあ…

944 ふふ…じゃあ証明してよ。

945 前戯はしなくていいよ…1秒でも君と繋がれない事が何よりも痛いから。

946 早く私を愛して…

947

948 // (挿入)

949

950 んん…ん…！

951 えへへ…やっぱり痛いや…

952 処女の時だつて痛くなんかなかったのにな…

953 体ばっかり頑丈でも…心が脆ければ仕方が無いや…

954 わっ…

955

956 …(左耳のセンチ)

957 // (抱きしめられて)

958

959 ちょっと…抱きしめ過ぎだよ…でも…暖かい…

960 ありがとう…これなら痛くないよ…

961 沢山愛し合おうね…溶ける様に混ざり合って…一つになりたい。

962 んん…いい…凄く気持ちいいよ…

963 好きに動いていいから…

964 いつも私がリードしてたけど、

965 最後は…私じゃ何処へ向かえばいいか分からないからさ…

966 お願いね♡うふふ…

967 わっ…♡

968 うふふ…凄くいい…もっと沢山私の弱いところじめて…

969 えへへ…幸せ…

970 んん…ん…はあ…はあ…んん…

971 はあ…はあ…気持ちっ…んんっ！ん…はあ…はあ…

972 しじ…

973 ねえ…私ちひきから喘ぐじゃってしるわよね…

974 口、塞ぐべ…

975

976 // (貪るようなキス)

977

978 んっ…ちゅ…ん…ちゅ…ん…ん…

979 もっと…ちゅ…ちゅ…はぁ…はぁ…

980 んん…ん…ちゅ…ん…ぶはっ…

981 えへへ…君とのキス…頭がクラクラしちゃうよ♡

982 もっと…もっと激しくして♡

983 そう…私の弱いところ…突かれたら声が漏れちゃう場所、たーくさん攻めて♡

984

985 //(漏れるような喘ぎ声 60秒)

986

987 はぁ…はぁ…もう出そうなんだ？

988 っいっめ、でも今日は出来れば、

989 後1回だけ付き合ってくれたら嬉しいな…

990 うふふ…頑張ってるね。

991 ほら、もっと腰振っちゃいなよ。

992 今日は本当に孕ませるんだから…遠慮はいらない。

993 我慢しないでっついでっ…ほらびゅーびゅーって

994 出して♡ほくら、だーせ♡出せ♡

995

996 // (射精)

997

998 んっ…出てるの分かるよ。すごい勢いだね。

999 最初からこんなに出しちゃって大丈夫？

1000 一回で終わっちゃったら、ちょっと寂しいな…

1001

1002 :: (右耳0センチ)

1003

1004 わわっ♡まだまだおちんちん元気だね♡

1005 えへへ…心配は余計だったみたい。

1006 ちょっと休憩しよっか…

1007 んっ…ふう…ふふふ…おちんちん抜いちゃダメ♡

1008 精液が溢れないようにおちんちんで蓋しないと。

1009 はぁ…これが最後のえっちだね…

1010 今まで沢山作った思い出…どれも忘れられないや。

1011

1012 ・(楽しいに)

1013

1014 君は何が一番楽しかった？

1015 えゝそれなんだ、ちょっと意外かも。

1016 てつきり、一回だけしてあげたパイズリかなゝって。

1017 君のおちんちん、全然挟みきれなくてソーセイジドッグみたいだったね♡

1018 獣人だけに…

1019 えへへ…私はね…やっぱりレイプごっこが楽しかったな♡

1020 あゝでも、君と初めて会った思い出も…君がお花と名前をくれた事も、

1021 初めてのエッチだって…朝にフェラしてあげたのも楽しかったなあ…

1022 全部が全部…とっても楽しくて、私を突き刺す大切な思い出…

1023 ふふ…そろそろ再開しよっか。

1024 これ以上焦らされたらムラムラしちゃう♡

1025 今度は私も一緒に動くね。

1026 甘えるだけの女にはなりたく無いもん！

1027

1028 // (抽送 普通)

1029

1030 ほら…気持ちいい？

1031 えへへ…そっか、嬉しいな。

1032 私もすっごく気持ちいいよ！

1033 頑張って声我慢しないと…はあ…はあ…はあ…って漏れちゃいそう♡

1034 えへへ…聞きたいんだ？

1035 っいよ♡もう我慢しないね♡

1036

1037 ・ (喘ぎ声を漏らす)

1038

1039 んんっ…ん…はあ…はあ…

1040 もう…優しいのに変態さんな所もあって…

1041 はあ…はあ…君の好きな所が多すぎるよ…

1042 全部伝えたいけど…ちよっと恥ずかしい…

1043 えー言っただけなの？

- 1044 じゃあち、勝負しよっか。
- 1045 お互いに好きな所を言って行くの！
- 1046 私も…気になるし…
- 1047 ねー良いでしょー！
- 1048 えへへ〜決まりだよ！
- 1049 じゃあ私から始めるね。
- 1050 まずはね〜
- 1051 あ〜あれ…
- 1052 違うよ！あるんだよ！
- 1053 たーくさんあるの！
- 1054 だけどさ、どれも口に出そうとするよ…
- 1055 辛くて…悲しくて…苦しいよ…
- 1056 なんだか口に出すたび出て行って帰って来ない気がして…
- 1057 ごめんね…でも…
- 1058 本当に世界で、いや…世界より！
- 1059 貴方の方が好き！愛してる…！
- 1060 えへへ…きつと私の顔ぐしゃぐしゃだよ〜
- 1061 見ないで…恥ずかしいから。

1062 …やっぱりちゃんと見て、じゃなきゃ君の顔がよく見えないや…

1063 えへへ…バカみたいだね…

1064 うん…これでいい。これこそ私達の最後の思い出に相応ふさわしいよ。

1065 今までの思い出は綺麗すぎたから、歪んだやつが一個くらい欲しいもんね。

1066 ほら一緒にごっご…

1067 んっ…んっ…ういよ…すっごっくうい…

1068 このまま…君の全てを見せて…かっこいい所も恥ずかしい所も。

1069 私は貴方の全てを受け入れるから…

1070 うん…もう我慢しないで。

1071

1072 // (左耳0センチ)

1073

1074 ふふ…ぎゅっって抱きついちゃっつ。

1075 意外に甘えん坊さんだよね♡

1076 えへへ…大丈夫。私もいっぱい甘えたいし、甘えさせてあげたいから。

1077 ほら、もっとギョツてしょ？

1078 わ…ちょっと苦しいね…でも、これがいい♡

1079 私のおっぱいが大きければな…君にいい思いさせてあげられたのに…

1080 でも、んんっ//お互いの乳首が擦れ合っちゃって…こっちも気持ちいいね♡

1081 あ、今おちんちんピクって跳ねたでしょ♡

1082 ふくん、乳首…君も弱いんだ♡

1083 もっと擦り合わせて…一緒に気持ち良くなる♡

1084 んんっ…んんっ…んんっ…あっ//うう…はあ…はあ…

1085 おちんちん…興奮させすぎだよ♡

1086 もう我慢できなさそうだね♡

1087 いいよ…腰、ピッタリくっつけて…私の一番奥に…

1088 んん…すっごい気持ちいいよ…ん…はあ…はあ…

1089 ほら出して、貴方の子は…私が産みたい。

1090 沢山お射精して、私を孕ませて♡

1091

1092 // (射精)

1093 :(正面5センチ)

1094

1095 ん…ん…はあ…はあ…

1096 お疲れ様、えへへ…

1097 もう絶対妊娠してるよ…

1098 王の子を獣人が孕んでるだなんてバレたら一大事だからね…

1099 どっちにせよ私は絶対出てくよ、君の頼みでも残らないから…

1100 うん…明日。

1101 これが最後の夜だよ。

1102 もっと抱き寄せて…

1103 貴方の腕の中…いい。

1104 ここで終われないのが一番の心残りだよ…

1105 えへへ…

1106 はあ…朝が怖いな…ずっと来なければいいのに…

1107 でも、もう寝ちゃおっか。

1108 朝が来ない方が…よっぽど怖いから。

1109 うん…おやすみ…

1110

1111 …(右耳0センチ)

1112

1113 ……ごめんね…大好きだよ。

1114

1115 プロローグ…王と獣

1116

1117

…(正面10センチ)

1118

・(物語る)

1119

1120

まだ世界が戦火に焼かれる前、平和だった一つの帝国があった。

1121

後に海を求め、世界を焼く帝国が。

1122

これは、そんな帝国の最後の王と私の…大切な思い出。

1123

1124

・(独り言)

1125

1126

忘れもしない、あの日知った海のこと…

1127

決して手が届かない物がある事を知った。

1128

私にとってそれは海と…貴方だったんだ。

1129

ほんのり温かい…陽に照らされた砂浜。少し眩しいくらいに波打つ海。

1130

最初は綺麗だと思えた。

1131

でも海の冷たさを知った時、

1132

足先から流れていく濡れた砂の感覚が…不快で仕方がなかった。

1133

何よりも温かい君の優しさと眩しい笑顔は、

1134 いつか私を引き裂くんだって、気づいちゃったんだ。

1135 貴方はあの日、何を思ったのかな。

1136

1137 エピローグ…恋人二人

1138

1139 …(正面10センチ)

1140 ・(物語る)

1141

1142 帝国の王は世界に火を撒いた。

1143 愛した奴隷に海を捧げる為、憎い世界を巻き込んだ。

1144 王は世界より、帝国よりも愛を選んだ。愚かにも。

1145 そして遂には海を手に入れた、世界から海を奪ったのだ。

1146 戦の火が絶える事はなかったが、王は既に燃え尽きていた。

1147 海を得て直ぐに王は消え、子を残す事もなかった為帝国に混乱を招く事になった。

1148

1149 王に愛された奴隷は人知れず王の子を産んだ、それは自分と、

1150 愛した王によく似た獣人の女の子だった。

1151 だがすぐに手放した。

1152 子には何の運命を課したくなかったから、

1153 そして自分一人では親にはなれぬと知っていたからか。

1154 奴隷は最後に世界へ呪いを掛けた、己の運命を呪わぬ代わりに、

1155 せめて自分が齎もたらした戦争によつて、

1156 狂わされた人々が幸せになる運命の呪いを。

1157

1158 ・(普段の調子)

1159

1160 ふふ…やっぱり海は嫌いだな…

1161 だってあんなやり方で奪った物でもこんなに綺麗なんだもん。

1162 でも、皆は好きになってくれたみたいだよ。

1163 空っぽな女の子も、自分を好きになれないあの子も、歪みが許せないお喋りさんも。

1164 うふふ…

1165 みんなは何度も繰り返し同じ人を好きになる…

1166 いつか訪れるハッピーエンドを目指して。

1167 えへへ…私達はずっと続けよっか。

1168 幸せな甘い最後より切なく苦い永遠が私達にはお似合いだよ。

1169 えへへ…これからも一緒に思い出、作ろっか！

1170 ずっと大好きだよ！また会おうね！

1171

1172

ケモミニ戦記 完